



年頭所感

日本商工会議所会頭

三村明夫

明けましておめでとうございま
平成29年の新春を迎え、謹んで
お慶び申し上げます。
昨年は、世界中で政治的に様々
なサブプライズが発生しました。加
えて、地政学的混乱の悪化、余剰
マネー等の動きによる株価や為替
不安定な一年でした。
本年もおそらく国際政治の大き
な動きが金融市場を揺さぶる場面
などがあるかと思いますが、幸い
にして我が国には、世界に誇れる安
定政権がありますので、いたらずら
に動揺することなく、じっくりと
直面する課題に取り組むことがで
きます。

我が国の付加価値額の約半分は、
三大都市圏以外の地方で生み出さ
れており、「地方創生の実現」は、
潜在成長率の引き上げと持続的な
経済成長に不可欠であります。
私は、地方創生の実現に向けて、
広域観光振興や農工商連携など、
地域の資源や強みを最大限に活用
した成長産業を育成し、域外の需
要、消費、投資を取り込むことの
重要性を繰り返し申し上げてまい
りました。
観光産業は、担い手の大半が中
小企業であるとともに、自動車産
業に次ぐ消費規模を持つ一大産業
です。

我が国の最大の課題は、足元で
0.2%台まで下がってしまった潜在
成長率を引き上げることです。「人
手不足」と「生産性向上の停滞」
が潜在成長率を押し下げている。サ
ブライサイド政策を力を入れて取り
組むことが必要です。
こうした中、商工会議所として
重点的に取り組むべき課題は、「中
小企業の成長の底上げ」と「地方
創生の実現」です。
中小企業が直面している最大の
課題が、「人手不足への対応」で
す。

また、2020年オリンピックピク
・パラリンピックは、我が国の観
光、文化、特産品、技術等を世界
的にアピールする絶好の機会です。
地方と都市の広域連携により、国
全体のバランスのとれた成長に繋
げていくため、各地域において、
国際交流、ビジネスチャンスの拡
大、観光振興等に積極的に取り組
んでいただきたいと思います。
農林水産業も長い年月をかけて
育てられた貴重な地域資源です。
商工会議所と農林水産業団体と
の連携によって付加価値の高い商
品を開発し、海外も視野に入れ、
広く販路を広げていくことが重要
です。

深刻化する人手不足に対して、
女性や高齢者など多様な人材の活
躍を推進していくことが必要です。
そして、人手不足を解決するも
う一つの方策は、「生産性向上」
です。
中小企業の生産性は、平均で大
企業の二分の一にとどまっています
が、中には大企業の生産性の水
準を上回っている中小企業もあり、
そうした企業に共通するのは、経
営者の成長への意識が高く、IT
や設備投資などに積極的であるこ
ろです。

さらには、地方の中小企業には、
高い技術力と競争力を持ち、世界
マーケットを狙えるものづくり企
業が数多くあり、これも地域の重
要な財産です。
政治的な混乱はあるものの、欧
米の経済は堅調と言えます。我が
国もまだ大企業の動きではありま
すが、景況感が好転しつつありま
す。
私達は、短期的な動きに一喜一
憂することなく、構造改革とイノ
ベーションを着実に深化させてい
かなければなりません。成長のト
レンドを変えるため、これから2
〜3年が、我が国にとって勝負の
年となります。

商工会議所として、事業承継の
支援を積極的に推進するとともに、
事業承継の大きなハードルとなっ
ている「事業承継税制の見直し」
についても、提言を続けてまいり
ます。

日本商工会議所としても、51
5商工会議所、青年部、女性会、
海外の商工会議所等との緊密な連
携の下、企業、地域、そして、日
本経済の持続的な成長の実現に向
け、全力を尽くしてまいります。

(二部抜粋)

Table with 9 columns and 6 rows of member profiles, including names, titles, and photos. Includes a rooster illustration on the left side.